



一時間一時間を大切に

(前号から)難しかったです。復習をしっかりと、早めに身につけます。

6～7 音楽・美術 音楽:「証」「言葉にすれば」の練習、美術:デッサン

だんだんと音がとれるようになってきた!びんを描く時に、立体的に描くのが難しかったです。

○久しぶりの学校でしたが、GW中も勉強や部活で忙しかった人が多かった様子で、みんな疲れていたり、眠そうな人が多かった気がします。

*

●●さんが「眠そうな人が多かった気が」と書いている通り、どういうわけか連休明けは眠いものである。私も授業の合間に机のところで教科書を開きながらウツラウツラ...であった。別に連休中に部活をがんばったとか、勉強を頑張ったとかいう理由ではないような気がする。要するに、連休があと一年後にしかやって来ないという脱力感と、久しぶりに早起きしたり、混んだ電車に乗ったり(ついでにヒドい目にあつた人もいたようだし)、大勢が集まった教室に入ったりして、何となく目をつむりたくなってしまふのであろう。

*

閑話休題、学級日誌を見ていると、確かに数学の進み方の速さは大したものである気がする。絶対値や不等式かぁ...と置いていたら二次関数になり、そのグラフの話が、すでに場合分けの話になっているではないか!これにサクシードとくれば、なるほど、かなり苦しめられていることが伺われる。週6時間授業というの、ボディ・ブローのように効いてきそう。ここは是非、学級日誌にも書

かれているように、予習・復習をしっかりとこなして、何としても遅れをとらないように努力してほしいところである。

*

つまり、家庭での勉強は、数学(そして英語)に多くの時間を取られてしまうことにならざるを得ないわけだ。部活が本格化し、体育祭や合唱祭の練習の時間も考えると、一体いつ古典の勉強をするのだ!ということになるわけだが(笑)、まあ、うまく時間を見つけてノート作りに励んでほしいなあ...

しかし、数学・英語に家庭学習時間の大部分を取られてしまつたら、あとは授業を生かすしかないことは明白であろう。地学も難しくなりつつあるようだが、授業中にしっかり頭を働かせ、その場で理解するよう努めることが大切だ。100%は無理でも、100%に近づけることによって、復習や考査準備の時間が短縮できるようになるからである。

現文などは特に自分では勉強しづらい科目なのだから、授業中の先生の質問に対する答えをしっかりと考えることで、一時間一時間実力を伸ばしていくのが正攻法である。古典も同じだ。予習は完璧でなくてもよいから、授業中に頭を使い、知らないことを(忘れてもよいから)その場でどんどん覚えるようにして知識を増やしていこう。

*

時間は限られている。とすれば、授業中にできるだけ理解してしまう科目と、家庭学習にも時間をかけるべき科目を意識することも大切だ。そして、その根本にあるのが、一時間一時間の授業を大切にする姿勢である。